

R7年 12月

市野谷つばさ保育園

先日園で行った収穫祭に向けて、きのこや小松菜の栽培を行いました。毎日きのこをのぞきこんで「まだ芽が出ない」と水をあげてくれたり、小松菜の芽が出たと教えてくれたり、みんなが食べ物を育てることに興味を持ちました。また、年長児が図書館で食べ物やカビなどについて調べてくれて、みんなに教えてくれました。この日のお昼では、幼児組はご飯をおにぎりにして食べたのですが、全く味つけのない状態のおにぎりでもみんな完食していて、この行事を通してそれぞれ感じる場所があるのだろうと思わずにはいませんでした。そして今回のこの経験が、これから子どもたち一人ひとりにとってかけがえのないものへと繋がってくれば嬉しいです。

寒さも日に日に増してきています。元気に年末年始を迎えましょう。



1日(月) 乳児身体測定

2日(木) 幼児身体測定

6日(土) 発表会

★詳細は別紙でご確認ください。

8日(月) 丸亀製麺見学(幼児組)

9日(火) お誕生会

★10:30～開始予定です。

17日(水) おもちつき

なかよし広場

24日(水) クリスマス会

※12/29～1/3 保育園休園日

※避難・消火訓練は日付を決めず行います。

★お知らせ★

- ① 園だより・クラスだより1月号は、1/5に配信・掲載させていただきます。
- ② 12月より全園児対象の個人面談を行います。年長児は就学を控えておりますので、できるだけ12月や早めの面談調整をお願いいたします。期間は12月15日(月)～2月27日(金)までとなっております。事務所前の予定表に記入をお願いいたします。

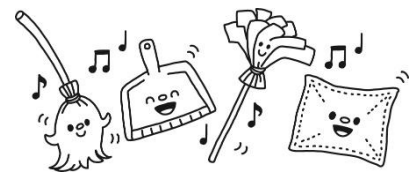
年末保育最終日のお願い

各ご家庭の年内最終登園日にロッカー内の荷物のお持ち帰りをお願いいたします。

【すみれ組】【つくし組】【たんぽぽ組】

- ① 各お部屋に入室していただき、ケースの中にある洋服とオムツを全て出し、ケース内の拭き掃除をお願いいたします。お持ち帰りいただいた洋服とオムツは、サイズ・記名の確認をしていただき、次の登園日(R8/1/5以降)にお部屋のケースに荷物を入れていただき、ロッカーにセットしてください。
- ② タオルケット類のお持ち帰りをお願い致します。
※布団マット消毒とカバーの持ち帰りは12/19(金)となります。

※必要な方はお荷物を持ち帰る大きめの袋をご用意ください。



【ゆり組・ばら組・ひまわり組】

- ① ロッカーの中身すべてお持ち帰りとなります。お持ち帰りいただいた洋服はサイズ・記名の確認をしていただき、次の登園日(R8/1/5以降)に再度荷物をお持ちください。幼児組のロッカーは、子どもたちで中身を袋に入れてから大掃除を行いますので大きめの袋をご用意くださいますようお願いいたします。(記名をしてお子様に持たせてください)
- ② 布団マット消毒とカバー、タオルケット類のお持ち帰りとなります。

◎急遽、保育最終日にお休みをされた場合や忘れ物があった場合には、保育園終了時間内にお荷物の引き取りをお願いいたします。

◎年度末でお忙しいと思いますが19時までに荷物のおまとめ・降園ができますようお願いいたします。また18時を過ぎますと延長料金が発生しますので、時間に余裕をもってお迎えをお願いいたします。

保育目標

- すみれ→・生活動作に興味を持ち、自分でやってみようとする。
 - ・冬の自然や外気に触れながら、身体を十分に動かして遊ぶ。
- つくし→・戸外で冬の寒さを感じながら全身をしっかりと動かして遊ぶ。
 - ・子どもの思いを受け止めていく中で、自分でしようとする気持ちがもてるようにする。
- たんぽぽ→・自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気づいたりする。
 - ・フォークやスプーンの下手持ち、3点持ちが身につき、食器を手に添えて食べる。
- ゆり→・身体を十分に動かし、寒さに負けない体づくりをする。
 - ・発表会を通して表現することを楽しみ、人に見てもらう喜びを感じる。
- ばら→・友だちと協力して目的を達成する。
 - ・寒さに負けず戸外で身体を動かす。
- ひまわり→・共通の目的に向かって友だちと協力し、満足感や充実感を味わう。
 - ・冬の行事に関心を持ち、季節の文化や習慣に親しむ。



子どもの好き嫌い

～子育て支援より～

・精神面の発達から好き嫌いの自己主張ができるようになる。

好き嫌いの自己主張は1～2歳頃から始まります。「これは好き、これは苦手」と成長の過程で自己主張できるようになったのです。

子どもが食べ物を残すことに悲観せず、食べるよう強制しては逆効果のようです。大切なのは食べないからといって親がイライラせず、美味しそうにご飯を食べる姿を見せること。

・タンパク質と炭水化物がとれていて、便秘がなく、しっかり睡眠をとることが大切。

便秘の時は大人もおしく食べられないですね。また、子どもが夜にぐっすり眠れないと、親も睡眠不足になりがちです。睡眠不足では冷静に考えられません。まずは親も子どもも、ぐっすり眠ることが大切です。

園では先月に収穫祭を行いました。自分たちで育てた野菜を自分たちで調理する経験は食べ物を大切にする気持ちが身につくと同時に食べ物への興味がぐっと高まります。1歳児のお子さんのエピソードでは、キノコの成長を毎日楽しみに見るようになり、キノコに興味を持つようになり、食べてくれたとのこと。うれしいエピソードですね♡

これからも様々な経験を通して、自ら食べてみようと思える環境を作っていきます。



発表会で大切にしていること



私たちの取り組んでいる見守り保育では、発表会は特別な“成果を見せる場”ではなく、日々の生活や遊びの中で育った子どもたちの姿を、ありのままに感じてもらう機会として位置付けています。

① 子どもの「やってみよう気持ち」を尊重する

決められた表現を覚える練習よりも、子ども自身がやってみよう・表現したいという思いを大切にしています。

② 一人ひとりのペースや個性を大切にする

大勢の前に立つことが楽しい子もいれば、ちょっとドキドキする子もいます。どの姿もその子らしさの一部。無理なく安心して参加できる環境を整えます。

③ 「できた・できない」ではなく、過程と育ちをみる

練習の成果を評価する場ではなく、日々の生活の中で培ってきた関わり、気持ちの動き、工夫する姿など、育ちのプロセスを大切にしています。

④ 大人が“教え込む”のではなく、環境と関わりを支えること

私たち保育者は、子どもたちの気持ちが自然と表現につながるよう環境を整え、そっと寄り添いながら見守ります。

当日は、子どもたちが感じているドキドキやワクワク、友だちとつながろうとする姿など、その瞬間にしかない育ちをあたたく受け取っていただければ幸いです。子どもたちのありのままの姿を、一緒に見守ってください。